

○ Dr. Gilbert M. Shimmel

所 属 : Dept. Public Health, California University

年月日 : 1961年6月26日

用 務 : アジアにおける人口傾向と人口政策とに関する研究

連絡機関 : 国立公衆衛生院

○ 鄭 順 膺 (Chung, Soon Eung)

所 属 : 韓国参議院運営委員長, 韓国統計協会会長, 韓国人口問題研究所理事長, 京城

年月日 : 1961年6月28日

用 務 : 日本における人口問題に関する調査研究の調査

連絡機関 : The Population Council, New York.

(調査部資料科)

第13回日本人口学会の開催

第13回日本人口学会は、昭和36年4月20、21の両日東京、明治大学において開催された。研究発表会およびシンポジウムにおいて行なわれた報告ならびに報告者をするすつぎのごとくである。

第1日(4月20日)

○研究発表

- (1) わが国における出生の届出洩れの推移について……………人口問題研究所 上 田 正 夫
厚生省統計調査部 上 田 耕 三
〃 丸 山 てるみ
- (2) 家族循環と家計における教育費負担に関する1
考察……………お茶の水女子大学 伊 藤 秋 子
- (3) 寛永10年(1633年)肥後藩人畜改帳による人口
構成および家族構造の分析……………人口問題研究所 皆 川 勇 一
- (4) 府県別にみた世帯構造変動の分析
——人口移動との関連において——……………人口問題研究所 小 林 和 正
- (5) J. J. スペンダラー「厚生経済学と過剰人口の
問題」の紹介……………中 央 大 学 南 亮 三 郎
〃 大 淵 寛
- (6) 人口増加の経済分析
——仮設的法則としてのマルサスの命題と
その実証の試み——……………一 橋 大 学 南 亮 進
- (7) 就業構造の産業連関分析……………人口問題研究所 岡 崎 陽 一
- (8) わが国における人工妊娠中絶調査の概要……………国立公衆衛生院 木 村 正 文

○シンポジウム「“人口学”への接近」 座長 南 亮 三 郎

- (1) 経済学の立場から……………南 亮 進
- (2) 人口統計学の立場から……………上 田 正 夫
- (3) 社会学の立場から……………関 東 学 院 大 学 富 田 富 士 雄

